

公的ワンストップ支援機関として 愛知県の中小企業を多面的にサポート

愛知県内の中小企業などの相談受け付けや支援をワンストップで行う県内唯一のセンター「あいち産業振興機構」(名古屋市中村区名駅四丁目、ウインクあいち内)。国際化や事業承継など、個別の事情に即応した事案にも専門スタッフ、関係機関との連携で対応。その陣頭指揮を執る森鋭一理事長に話を聞いた。(聞き手/中部財界フォーラム社塚本隆)

—— 県内中小企業の景況は。
森 昨年と今年はかなり変わりました。二〇一五年は日銀も「緩やかな改善」としたように、円安・株高の進展で大企業や輸出産業を中心に大幅改善し、内部留保も積み上がりました。一方、中小企業は国内需要の減少、新興国の台頭、円安による原材料などの高騰で厳しい状況に置かれました。
一六年に入って米国の利上げの影響、欧州の不安定、中国経済の

減速、資源価格と新興国経済の低迷など不安材料が山積みで、環境は一変し、中小企業は真つ先に影響を受けるので大変厳しい状況です。設備投資意欲もわいてきません。中小企業の優れた技術が大企業や日本経済を支えているとはいえ、山積みの問題をどうするのか、厳しい状況を打開する方法はあるのか。そういう相談に乗るのも私たちの仕事です。
—— 機構の設置目的と活動内容

について。

森 前身は一九七一年末設立の愛知県中小企業振興公社で、県の外郭機関として中小企業の経営基盤の強化、新事業や国際化への支援を総合的に行う県知事指定の唯一の中小企業支援センターです。
二〇〇六年、名称変更し、一一年に公益財団法人に移行。より公的目的や経理関係を明確にし、中小企業に対して様々な支援メニューをそろえ、公的ワンストップ支援機関として公益事業を前面に打ち出してやっています。
組織としては経営相談などに応じる「経営支援部」、新事業支援の「新事業支援部」、国際化など担当の「情報・国際ビジネス部」の三部と販路拡大、マーケティング

グ担当の「よろず支援拠点」、金融・税務関係の「統括・担当マネージャー」があります。

—— 具体的には。
森 経営相談窓口としては「よろず支援拠点」で一三人のマネージャーらが対応し、解決できないものについては専門家を派遣します。発注・受注企業のマッチングや商談会の開催を担う「取引先開拓の支援」、創業や新分野進出を支援する「新事業支援」、海外取引や海外進出を考える企業を支援する「国際ビジネス支援」、ネット対応、発信などIT化を進める企業を支援する「情報提供・IT活用支援」、特許など知的財産を担当する「知的財産支援」などのグループが様々な相談、支援を